

2018年1月22日
JFE スチール株式会社

「1.5 ギガパスカル級自動車用冷延鋼板」で平成29年度省エネ大賞を受賞
～製品・ビジネスモデル部門で初受賞～

当社はこのたび、「省エネと衝突性能を両立させた1.5 ギガパスカル級自動車用冷延鋼板」の功績により、「平成29年度省エネ大賞 製品・ビジネスモデル部門」（主催：一般財団法人 省エネルギーセンター、後援：経済産業省）の「資源エネルギー庁長官賞」を受賞しました。

「省エネ大賞」は、事業者や事業場等において実施した、他者の模範となる優れた省エネへの取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰するもので、日本全体の省エネ意識の拡大、省エネ製品の普及などによる、省エネ型社会の構築に寄与することを目的としています。うち「製品・ビジネスモデル部門」は、日本の産業、業務、運輸各部門において、国内で購入可能な優れた省エネルギー性を有する製品（要素製品及び資材・部品などを含む）、および省エネルギー波及効果の高いビジネスモデルなどを表彰する制度です。表彰式は、2018年2月14日に東京ビッグサイト（東京・江東区）にて行われる予定です。

1. 受賞件名

「省エネと衝突性能を両立させた1.5 ギガパスカル級自動車用冷延鋼板」

2. 受賞理由：

鉄鋼製造・輸送・プレス加工・自動車走行の各工程で、大きな省エネ効果が得られたことが高く評価されたため。

3. 受賞概要：

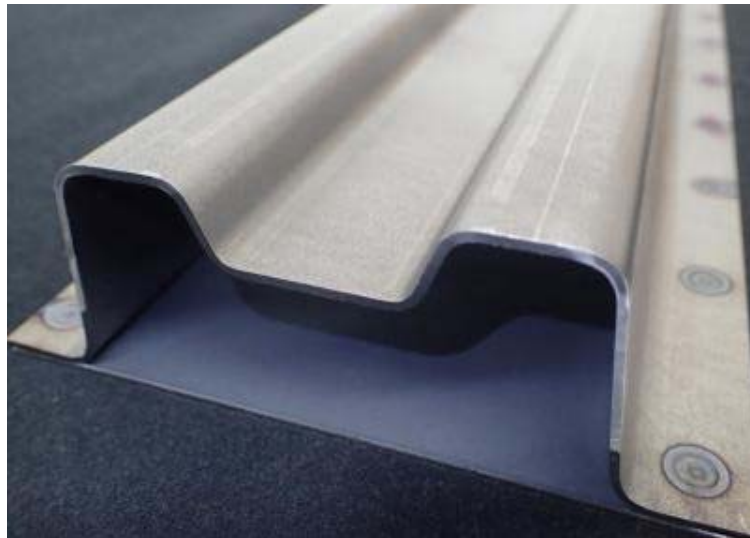
当社は、西日本製鉄所（福山地区）にある独自のWQ方式（※）連続焼鈍プロセス（JFE-CAL）を活用し、冷間加工用の鋼板としては世界最高強度の1470MPa級冷延ハイテンを2014年に量産開始しました。WQ方式の極めて高い冷却速度（1000℃/秒以上）を利用して高強度化し、遅れ破壊の原因となる合金の添加を極限まで低減することで、1470MPa級の高強度と優れた耐遅れ破壊特性を両立させています。

1470MPa級冷延ハイテンは、従来の980MPa級ハイテンに対し、2倍の降伏強

度を有しており、優れた衝突性能を維持して大きな部品軽量化効果が得られます。同一の部品性能を従来よりも2割少ない素材の量で実現でき、鋼材製造・輸送・自動車走行の各工程で省エネに貢献します。また、室温でのプレス加工が可能であり、熱間成形工法で必要だった加熱工程を省略することで、生産性向上・省エネに貢献します。

(※) WQ方式：水焼入れ。Water Quench の略。

【写真】受賞した「1.5 ギガパスカル級自動車用冷延鋼板」のモデル部品成形例



以 上

本件に関するお問い合わせは、下記にお願い致します。

JFE スチール(株) 総務部広報室 TEL03(3597)3166